

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	全国障害者スポーツ大会・堺市予選大会			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進 課 評価責任者(課長名)
					長尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 18 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(略称・障害者総合支援法)			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第2次堺市スポーツ推進計画			
5	事業実施の経緯	政令指定都市への移行に伴い、平成18年度から全国障害者スポーツ大会へ堺市選手団を派遣している。派遣する選手は、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱に基づく予選会の成績により決定している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者 療育手帳取得の対象に準ずる者(知的障害者(児)社会福祉施設、特別支援学校、特別支援学級の在籍者) 精神障害者保健福祉手帳の取得の対象に準ずる者(自立支援医療(精神通院)受給者証の交付を受けた者)		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	障害者が本大会に参加することにより、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさを体験しながら競技力を向上させる。また、市民の障害者に対する理解と認識を深め、もって障害者の自立と社会参加の促進に寄与する。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	○第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」 開催期間 平成30年10月13日～15日 派遣期間 平成30年10月12日～16日 選手人数 20人 役員等人数 24人 ※参加競技 陸上、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他(指定管理者制度)			

Ⅲ. 投入量

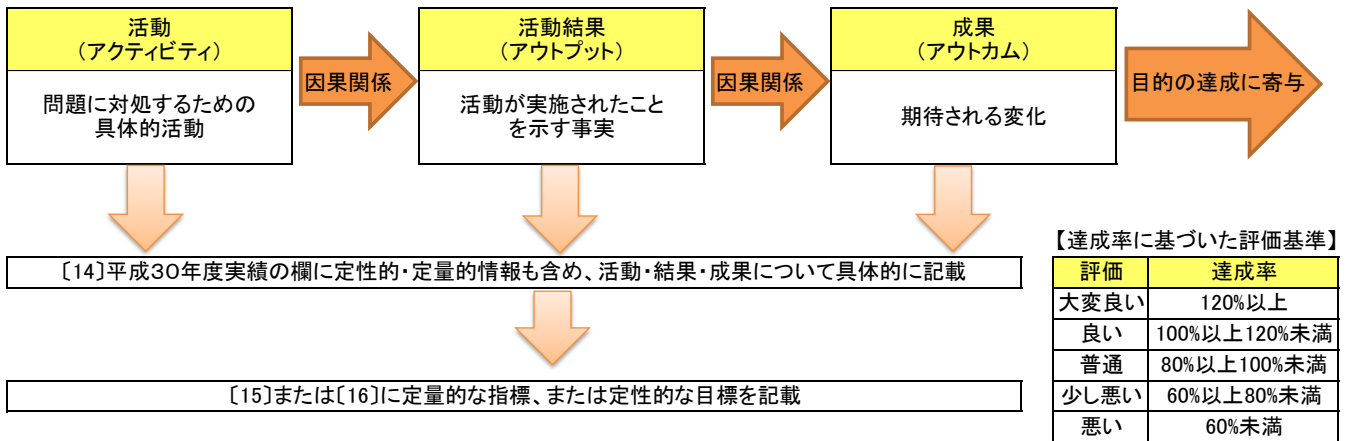
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	382	265	314	442	
	主な事業費内訳	報酬	千円	112	112	112	168
		報償費・需用費	千円	0	0	80	50
		旅費	千円	151	42	44	128
		負担金	千円	119	111	78	96
		国・府支出金	千円				
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	382	265	314	442
	12 人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,430	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,842	2,725	2,774	2,872		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	全国障害者スポーツ大会・堺市予選大会	シート番号	11-124
-------	--------------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績									
活動実績と成果	14	<p>堺市障害者スポーツ大会(堺市予選大会)は年々参加者が増加し、平成30年度は過去最多の487人が競技に参加した。健康福祉プラザスポーツセンターで行っているスポーツ教室及び練習会の参加者や、スポーツセンター利用者からの大会申し込みが増えていることから、今後もスポーツ教室や練習会への参加を促すことで、大会参加者の増加に繋げていきたい。</p> <p>全国大会においては、初出場の選手が合計7名、大会新記録を3つ出すという結果で終えることができた。メダル獲得数は24個、メダル獲得率は63%となり、目標としている30個には及ばないものの、前年度を上回る結果となった。</p> <p>今後もスポーツ教室や練習会の開催を通じて、大会参加者の増加や競技力の向上へとつなげ、障害者自立と社会参加を促していく。</p>							
		指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		15	堺市予選大会参加人数	人	目標値	350	425	450	475
					実績値	395	429	487	
					達成率	113%	101%	108%	
					評価	良い	良い	良い	
		算出方法・設定根拠など		前年参加者の5%程度増					
		16	全国大会メダル数	個		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
					目標値	30	30	30	30
					実績値	24	16	24	
					達成率	80%	53%	80%	
					評価	普通	悪い	普通	
		算出方法・設定根拠など		出場種目数の85%以上					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17		堺市障害者スポーツ大会については、健康福祉プラザ指定管理業務として実施している。指定管理者が事業を担うようになって以来、団体競技の普及・拡大の取組や全国障害者スポーツ大会で実施される障害区分に加え、堺市独自の競技参加枠を設定することにより、参加人数が増加傾向にある。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。